

The 2 Chome Times 平成23年11月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO162.

2011. 11. 25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムズ11月号

★肺炎球菌ワクチンを御存じですか？

風邪症候群やインフルエンザに注意したい季節となりました。近年インフルエンザワクチンの他に肺炎球菌ワクチンを接種される方が増えております。従来は介護施設入所の方、慢性閉塞性肺疾患、重症糖尿病、免疫不全などをお持ちの方が対象でしたが、新型インフルエンザの出現を契機に、重症化するインフルエンザ罹患後の肺炎予防のためにも65歳以上の方に広く推奨されるようになりました。インフルエンザワクチンとは異なり、一回の接種で5年間は有効ですので、毎年の接種の必要はありません。費用は医療機関によって異なりますが、概ね費用は8000-10000円程度です。

★ 石垣島ツアー (三宮センター街2丁目商店街親睦旅行)



10月18日(火)～20日(木)に約30名で石垣島に行ってきました。初日午前7時30分に神戸空港に集合し、ANA431便で那覇空港経由で石垣島に到着しました。シーフードの鉄板焼きを食べ、石垣島鍾乳洞を見学、世界初の鍾乳洞イルミネーションや滴る水の音を楽しむ水琴窟など、地底に広がる神秘の世界を楽しみました。川平湾ではグラスボートに乗り、サンゴや熱帯魚を観察した後、ホテルにチェックインし、温泉に入り、夕食会の始まりです。久利理事長のご挨拶、石垣空港の石垣常勤監査役のご挨拶、サンセンターブ

ラザ片岡社長の乾杯で美味しい沖縄料理に満悦しました。その後、ミヤギマモルさんのライブへ、当然妃月洋子さんもゲスト出演。俵万智さんがお子さんを連れてお越しになられ、一緒にライブを堪能しました。2日目は自由行動です。西表島、由布島、竹富島の3島周遊に行く方、小浜島にゴルフに行く方など、様々に時間を過ごしました。そして最終日、午前中は石垣島の街中に出てショッピング、午後は唐人墓、ミンサー織、八重泉酒造を見学し石垣空港に到着。そして神戸空港に午後9時頃着きました。皆様、お疲れ不是吗？本当に楽しい旅行でした。担当されたスタッフの皆さんありがとうございました。



★ “矢田たつおさんを囲む中央区のつどい”

平成23年10月21日矢田神戸市長を囲む集いが開催されました。著名なサッカー指導者の黒田和生氏の講演“「トモニコウ」スポーツを通じて豊かな人生を”と市長のお話の2部構成。黒田氏の座右の銘が武田信玄公の“人が石垣を造る”という言葉に基づいておられるそうで、どんな試合もグッドゲームで終わらせ、フェアプレイを心がけることが人生にも通じることだと述べておられました。続いて矢田市長のお話があり、3.11の震災を機に神戸が16年前経験したことをベースにして、被災地への支援の輪を広げ継続して実行していくこと、これからの時代は危機管理と備えが重要であると認識したと語っておられました。海外との繋がりでは中国天津研究会が第15回目を迎え、中国は少子高齢化対策を日本から学びたいらしく、高齢者施設の見学を受け入れた事に触れ、これからも手本になるような政策を進めていくこと、さらに神戸市は中央区・灘区で人口が増えて155万になろうとしており、神戸に住みたいという子育て世代にも支援の手を差し伸べなければならないことや、ポートアイランド第2期開発地に新市民病院が移設し

たが、神戸市が医療都市として発展していくことが今後重要になってくることも最後に強調されていました。これからの神戸市の展望を聴くことができ、有意義な時間を過ごせました。

★今回もクリスマスがやってきた Ho, Ho, Ho !



色々な事があった今年もクリスマスの季節になりましたね。2丁目の入り口に飾る装飾ですが、今年は王道のクリスマスリースをベースにゴールドとシルバーの輝くトナカイが空をかけていくイメージが反映されています。大変な出来事が多くありましたが、希望を失わずという事で星を大きくフィーチャーしています。「星に



願いを」の歌のように、日本全体が立ち直っていければと、私達の願いを込めてみました。

★「いちいちバザール」の開催

3月11日の大震災以来、被災地では高齢者、障害者、児童に大きな被害が及んだ結果、今なお厳しい生活を強いられている方が多数います。特に、普段より地域との繋がりが薄い障害者にとっては自分達の所属する事業所が頼りであるにも関わらず、その機能が十分に回復するにはまだまだ時間が必要です。そこで、こうした障害者のための事業所を支援する一助にすべく、被災地の障害者事業所が扱う商品の販売を目的として、「いちいちバザール」が毎月11日の前後に場所を変えて行われています。12月11(日)の11時から17時まで三宮町2丁目の本通り商店街に面しているグレースコウベルの荷捌き場でこのバザールが開かれます。当日は美味しい食品や玩具、石鹸やストラップなどなど、バラエティーに富んだ商品が並びます。こういった商品を購入し、消費することが直接的に障害者事業所を助けることになり、一人一人の弱い立場の被災者を支援することになります。年末商戦の最中、皆様には当日は大変お忙しいとは思いますが、本通りの会場に寄っていただき、一品でも多くご購入していただければ、多くの被災者の努力が結果に結びつきます。どうぞよろしく願いいたします。お問い合わせ先：中央区社会福祉協議会(棚野・中村) TEL: 232-1447 中央区役所5階

★ハイサイ! OKINAWAがANAの国際線で聴けます



神戸空港のテーマソングを歌っている妃月洋子さんの「ハイサイ! OKINAWA」がANAの国際線でも聴けるようになりました。ANAの国際線機内エンターテインメントである、SKY CHANNELで彼女のプロフィールが紹介され、ジャケットに画家の鴨居玲氏、作詞に作家の俵万智氏の協力があったことも紹介されています。私達の街と深く関わっている妃月さんの曲が世界の空の上でも、多くの方に聴いてもらえるなんて、少し誇らしく感じませんか? これからも妃月さんの活動に注目です!



★編集後記

横浜市の副市長の山田氏が新聞紙上で興味ある意見を述べておられます。3・11震災以降の復興支援に他の自治体同様、横浜市も取り組んできたが、その際、被災地の自治体と日頃から「顔の見える関係」を作っていたおかげで、平時の国を通しての中央集権的な仕組みに頼らない、自治体のトップ同士のホットラインを活用することができ、直接現地のニーズを聞き取り、スピーディに対応できたというものです。山田氏は経済活動でも、特に中小企業の場合、「この人(企業)のためなら」と思い、支援するケースが多く、このような「顔のみえる」経済が活力ある社会を作っていくのだと述べています。実際、2丁目の街運営でも、ある意味アナログ的な「顔の見える関係」を神戸市や沖縄市とか自治体を初め、アートストリート構想に関係する芸術家の方々とも作り上げる努力をしています。これからも「人にやさしく」をモットーにする我が街は「人の顔が浮かぶ関係作り」を大事にして行きます。